

# 令和4年度前期 学校評価アンケート考察

丹波篠山市立篠山中学校

本年度の学校評価アンケートは、4:あてはまる、3:少しあてはまる、2:あまりあてはまらない、1:あてはまらないとしており、数量的には等間隔と言えないが、増減の目安として平均値を記載し、( )に、令和3年度後期から令和4年度前期の増減を示している。各項目の中に、特徴的な質問を記載しています。

## I. 自らの命を守り抜く安全・防災・健康教育

(生徒) 学校の集団生活のルールやマナーを守っている 3.7(O.1)

(保護者) お子様は、登下校中など、交通安全に気をつけている 3.7(▲0.1)

学校は、安全・安心な学校生活が送れるように環境整備に努めている  
3.6(O.1)

(教職員) 学校は、毎月の安全点検を確実にいき、修理修繕によって事故・ケガの未然防止に努めている 3.3(O.2)

○生徒・保護者・教職員が安全・健康に関して高い意識で取り組んでいる。今後も、家庭や地域、関係機関・団体と連携した防災防犯体制を確立するとともに、防災教育授業の実施、危険箇所の把握や予告なし避難訓練、自転車保険への加入等を通して安全に対する意識の高揚を図る。

また、交通安全指導について、立ち番だけではなく、日頃から学活、学年集会や部活動、学校の中で安全に対する意識の高揚に努める。(自転車のカギ施錠、自転車の置き方、安全タスキ・ヘルメットの着用、2列並進の禁止、左側通行、一旦停止の励行など)

## II. 誇りを感じる学校・学級集団

(生徒) あなたは、楽しく学校生活が送れている 3.7(O.1)

(保護者) お子様は、楽しく学校に行っている 3.5(±0)

(教職員) 学校は生徒会を中心として「いじめ防止」に主体的に取り組ませている  
[生徒 3.5 (O.1) 保護者 3.4 (O.1) 教職員 3.2 (O.1) ]

○新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学校行事、生徒会活動、部活動等に制限が生じ、他者とのつながりを確認する機会が減少している。そのため、QUTテストや生活ノートなどを含め教育相談を増やすとともに、教育相談の即時即日実施・記録・共有を進めてきている。学活での集団づくりや、学年でのミニ運動会や部活壮行会など仲間づくりの機会を増やしてきている。さらには、ネットトラブルについて生徒会の自発的取組や関係機関と連携した指導を行っている。今後とも、学年担任制による即時即日の教育相談やウイズコロナに対応した仲間づくりを進める。

## III. 存在感や成就感を大切にした生徒指導

(生徒) いじめは絶対に許されないと考えている 3.9 (±0)

いじめを受けたり見かけたりしたら誰かに相談する 3.6 (±0)

生徒の悩みや不安に対して親身になって相談にのってくれる 3.5 (±0)

篠山中学校情報機器取扱三箇条を守っている 3.3 (O.1)

(保護者) 学校はいじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めている 3.3 (O.2)

いじめを受けたり、見たり聞いたりすると誰かに相談している 3.1(▲0.1)

学校は子どもや保護者の悩み、思いをしっかりと聞いている 3.1 (±0)

情報機器の使い方について家庭で約束を決め守らせている 3.0 (O.1)

(教職員) 不登校、問題行動、その他生徒指導について、指導の方向の明確化を図り各自の役割を遂行している 3.4(O.1)

学校は情報機器の取扱について生徒会・PTA・警察と連携した取組を行っている 3.2 (O.3)

いじめの未然防止、早期発見、早期対応、早期解決をしている 3.7 (O.3)

○生徒指導方針、いじめ防止基本方針を発信し、地域と一体となった生徒指導を進めるとともに、警察、福祉、医療等の関係機関と連携しケース会議等による組織的・計画的な個別支援を行っている。また、「報・連・相」の意識を高め、に生徒指導委員会と学年会の連携を円滑に行っている。今後とも、生徒との対話・教師間の対話を重視した教育相談や情報共有の徹底を図る。

#### IV. 豊かな人間性・社会性を育む道徳教育、人権教育

(生徒) 道徳の時間に自分の考えを言葉で表現し人と交流している 3.3(±0)  
道徳の時間に自分の生活や生き方を見つめふりかえることができている 3.3(±0)

(教職員) 道徳研修を意欲的に行い、道徳の授業の改善に努めている。 2.9(0.2)

○道徳の授業は学年単位でローテーション授業により組織的に取り組み、効果的な中心発問について研究し、深く考え他者と交流する道徳を進めている。今後も、「特別の教科 道徳」を要とし、教育活動全体で、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

#### V. 将来や社会の糸口をつかむキャリア教育

(生徒) あなたはふるさと篠山の良さを知っている。 3.4(0.1)  
あなたにはいいところがある 3.2 (0.1)

(保護者) お子様は、ふるさと篠山の良さを知っている 3.0(±0)  
学校は、生徒の自己理解、将来の職業、生き方等について、適切な進路指導を行っている 3.1 (0.1)

(教職員) 篠山の伝統文化を理解し、生徒に伝えようとしている。 2.3 (0.1)

○新型コロナウイルス感染拡大により、多人数を学校に招聘したり、地域に出向いたりする活動が難しい状況にあるが、地元企業によるICT教育を進めている。教育相談やガイダンスを系統的に進め、「あなたにはいいところがある」と回答する生徒の割合が増加している。今後も、キャリアノートを活用し、個に応じた組織的・計画的な進路指導を進めるとともに、生徒会活動、教科係活動、部活動のマネジメント活動を通して課題解決能力、人間関係形成力の向上を図る。

#### VI. 基礎力・思考力・実践力を育む学習指導・授業改善

(生徒) あなたは、予習や復習などの家庭学習に取り組んでいる 2.8(0.1)  
対話が深い学びにつながるように「書く」「表現する」「修正する」などの工夫をしている 3.1(±0)

学校の授業は最初に「目標」が示され、最後に授業をふりかえる「まとめ」がされている 3.5(0.1)

学校の授業の中には、個人で考えるところ、ペア・グループで話し合うところ、それを発表するところがある 3.6(0.1)

授業が楽しく分かりやすい 3.2 (0.1)

あなたは、学校の授業の中で、疑問や分からないことがあれば先生に尋ねて解決している 3.0(0.1)

(保護者) 学校は楽しく分かる授業になるように工夫している 3.1 (±0)

学校は基礎学力が定着するように取り組んでいる 3.1(0.1)

予習や復習などの家庭学習に取り組んでいる 2.5(±0)

学校は授業の疑問や分からないことを丁寧に教えてくれる 2.8(▲0.1)

(教職員) 「篠中授業スタンダード」に基づいた授業をしている 3.2 (0.3)

予習や復習などの家庭学習に取り組ませている 2.5 (▲0.1)

教育支援計画における合理的配慮及び個別の支援計画を見直し、教職員で共通理解しながら指導を行っている 3.1(0.2)

学校は、授業のユニバーサル化を図り、『豊かな人間関係づくり』・『伸びる力』の育成に努めている 3.2(±0)

○コロナ禍により授業方法に工夫が求められるが、学習活動の重点化を図り、対話が必要な場面を適切に設定したり、授業以外で行う課題を適切に出題したりしている。また、特別支援教育委員会で合理的配慮の検証改善をしたり、ユニバーサルデザインの職員研修を月 1 回行い、組織的に授業のユニバーサル化を進めている。また、ICT の活用についての各種調査で生徒は肯定的に受け止めている。

今後は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を一層進めるため、宿題だけではなく、見通しのある予習や振り返りのある復習を含む家庭学習に取り組めるようにする。また、授業スタンダードについて教師間の共通理解を一層図り、特に、思考を深める振り返りについて充実させる。

## Ⅶ. 支え愛に満ちた活気あるコミュニティ・スクール

(生徒) あなたは学校、地域でさわやかな元気のよい挨拶ができる 3.6(0.2)

(保護者) お子様は家庭や地域の中で気持ちの良いあいさつができる 3.2 (0.1)

学校は、保護者や地域の意見を真摯に受け止め、連携を進めている 3.3(0.2)

社会生活のルールやマナーが守れるようにしつけをしている 3.5 (0.1)

家庭内で親子でよく対話している 3.6(0.1)

(教職員) 爽やかなあいさつができる生徒を育てるために、自ら進んであいさつをしている 3.1(0.1)

保護者・地域への広報活動を積極的に行っている 3.3(▲0.1)

学校運営協議会を開催し、学校への意見聴取や安全点検・学習支援等を積極的に行っている。 3.6(0.2)

小中連携推進委員会、小中合同研修会、各小学校への出前授業、体験入学、入学説明会などを通して、小中の相互理解に努めている 3.4(±0)

○生徒会と学校運営協議会が学校づくりについて協議する四つの力委員会において、交通マナーとあいさつについて協議し、生徒会が啓発を進めた。また、地元企業による学習支援、教職員研修支援を進めることができた。また、ホームページや学校・学年だよりでいっそう教育内容の見える化を図ることができた。今後も、四つの力委員会で教育活動の検証改善や地域人材を活用した教育活動の充実を図る。

## Ⅷ. まごころで子どもとともに学ぶ教職員組織

(教職員) 定時退庁の木曜日、18:30までに退庁している 2.2 (2.0)

あなたは、原則週2回のノー部活動デーを実行している 3.7(▲0.1)

職員申し合わせ事項を意識して職務を行っている 3.2 (0.2)

○校務の効率的・効果的な実施、会議の効率化、部活動の早朝練習の廃止、ノー部活デー、定時退勤日の徹底、記録簿によるタイムマネジメントなどにより勤務時間の適正化を進めている。また、「すばやく・丁寧に・笑顔で」を教職員のモットーに、生徒・保護者への相談への姿勢や日頃の職員室、委員会、学年会議等で発言できる組織づくりの充実を図っており、今後も素早く丁寧な相談を進めていく。校務について、生徒の教育の効果を考慮しつつ、学校改革推進委員会を中心に「選択と集中」を進める。

生徒・保護者アンケートに学校経営へのご意見を記載いただいた方が多数ありました。そうした内容も踏まえて、後期の改善策を作成しております。

また、いただいたご意見の中には、教職員や生徒の個別的な内容がありましたので、該当者と改善策を検討しております。個別的な内容の回答の希望があれば、教育相談窓口や担任に申し出てください。